

平成30年6月第2回幸田町議会定例会 報告 1/2

議会報告 6月定例会報告

平成30年6月定例会は、6月11日～28日の18日間の会期でかいさいされ、単行議案10件が上程され、原案どおり可決しました。その他、陳情6件を審議し、不採択としました。

今定例会は、成瀬 敦 町長の初の定例会となりました。議会は、副町長に、元職員の大竹広行氏（62）を選任する人事案に、賛成多数で同意しました。

成瀬 敦 町長は、6月11日、就任後初の町議会定例会で、所信表明をしました。




所信表明の概要

『町の基本は 人です。防災も 暮らしも、産業も 未来も、そして 町政も、まずは人から始まります。人こそが未来へとつながる大切な財産です』



9つの取り組み

具体的施策

- | | | | |
|-----------------|---|----------------------------|---|
| 1.「安全安心な町」 | → | 消防本部24Hテラス化、AEDコンビニ設置 |  |
| 2.「健康に暮らせる町」 | → | シニア・シルバー世代人財育成 | |
| 3.「広域行政の推進」 | → | 幸田町職員のダイバーシティー化 |  |
| 4.「子ども達が元気な町」 | → | 新児童館建設推進、全教室エアコン設置推進 |  |
| 5.「産業が活気づく町」 | → | 新たな開発候補地の選定 | |
| 6.「都市基盤整備の推進」 | → | 3駅活性化、三ヶ根駅エレベーター設置推進 | |
| 7.「自然と共生、豊かな環境」 | → | ごみ袋の値下げ | |
| 8.「文化の香りたよう町」 | → | ふるさと町おこし、中央公園におしゃれなカフェ | |
| 9.「行改と住民サービス向上」 | → | ごみ袋値下げへ 庁舎窓口二期工事、女性職員積極的登用 | |

※太字：まちづくりで皆さんの「声」として私が主張し議会での訴えが一致する施策

主な議案

議案 第36号 北部中学校校舎増築工事

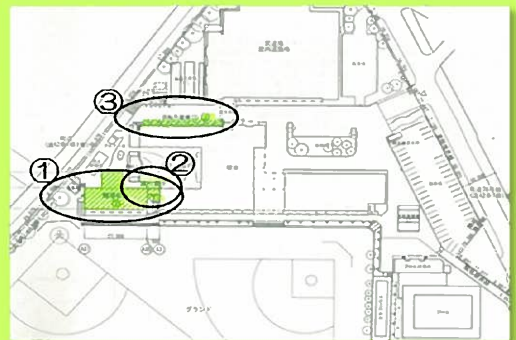
契約金額
2億9,894万4,000円

請負者
徳倉建設 西尾営業所

**増築の6教室とも
空調設備完備**



- ①校舎棟 軽量鉄骨造 2階建て
- ②渡り廊下棟 鉄骨造 2階建て
- ③自転車置場 鉄骨造 平屋建て
- 工期 平成31年2月28日まで



議案 第37号 職員用パソコンの取得

契約金額 3,777万8,400円

- ・ノートパソコン:374台
- ・デスクトップパソコン:6台
- ※先回の更新から7年が経過するため、OSサポート期限前に全職員用を更新。
- Q:リサイクル、転用する考えは？
- A:情報漏れを防止のため粉碎処理。

一般質問 さこう質問⇔町答弁 の概要

問:「老人クラブ」の加入率は? 答:幸田町は18.0%と低調

高齢化社会

背景・想い : 日本人の平均寿命は延び続け、人生100年時代を迎え、シニアシルバー世代の人たちの知識と経験を生かし、元気に活躍ができる「生涯現役・人手不足解消」の取り組みを問う。



Q: 平均寿命と健康寿命と国、県の比較?

Q: 県の「老人クラブ」加入率は、18.2%。本町の加入率と近隣は?

A: 「老人クラブ」加入率の比較表

	幸田町	愛知県	岡崎市	西尾市	安城市
加入率(%)	18.0	18.2	18.7	25.9	23.0

A: 平均寿命・健康寿命の比較(平成27年度)

		幸田町(才)	愛知県(才)	全国(才)
平均寿命	男性	81.5	81.1	80.8
	女性	86.9	86.9	87.0
健康寿命	男性	未算出	73.1	72.1
	女性	未算出	76.3	74.8

※平均寿命・健康寿命の差:男性で8才~9才、女性11才~12才

Q: 気軽に入れる「ボランティアセンター」窓口設置の考えは。

A: ボランティア窓口として、創意工夫をしながら充実をはかっていく。

相談窓口



Q: シルバー人材センター会員の登録数と就業状況は。

A: (平成29年末)会員登録: 371人 就業率: 93.3% 請負金額: 約1億8993万円(前年度比1.4%増)。



Q: 民業とのバランスを取り「シルバー人材センター」への行政のかかわり方。

A: 同種業務を行う民間業者の方への圧迫が生じないように、価格等の配慮し、会員の拡大と就業機会の確保に取り組み、支援をしていきたい。

問:車載カメラ設置補助金の導入を! 答:社会情勢を踏まえ検討

交通事故撲滅!

背景・想い : 交通事故の防止は、従来にもまして緊急かつ重要課題だ。今後の交通死亡事故防止と交通事故撲滅対策の施策の取り組みを問う。



Q: 交通事故の発生状況と推移は。

A: 過去5年間における人身事故は150件~180件で200人がケガ。死亡事故は、平成25年2人、26.27年は0件、28年2人、29年1人。

Q: 町内で発生した2つの死亡事故の教訓は。

A: 2件とも見通しの良い交差点を横断中の事故。交差点は速度を落とし、夜間は、ハイビームに、歩行者は夜間は反射材や目立つ服装を。



LED化率:54.3%

Q: 国道248号の信号機数と歩行者用信号機の有無と警察への設置要望は。

A: 信号機数 29ヶ所、歩行者用信号機 5か所なし、公安委員会に設置を要望。

Q: 信号機数とLED化率、今後の取替え計画は。

A: 町内の車両用信号機は94基あり、54基54.3%がLED化完了。

Q: 車載カメラは、事故防止、トラブル防止「動く防犯カメラ」としても、大きな効果が期待できる、本町独自の「車載カメラ設置補助金制度」の新設をする考えは。

A: 社会情勢を踏まえ、補助事業の展開を検討していく。



☆ 活動報告 ☆ 中地協議会報告会を開催 5月31日

中地協岡崎地区議会報告会が岡崎市勤労文化センター行われました。組織内議員から、国政、県政、岡崎市政について、幸田町議会と議員活動の報告をさせていただきました。日頃の活動の想いと実際の議会での発言、皆さんの声が届き、実現したなどを、報告させていただきました。

